

科目名	公衆衛生学				
担当講師名		所属・役職	保健所長	資格・免許	医師
担当講師名	稲葉 洋子	所属・役職		資格・免許	保健師
授業形態	講義	単位数・時間数	2 単位 30 時間	開講年次	3 学年前後期
講義の概要	法制度と保健活動の進め方を理解し、基本的な法律を学び、看護の基礎とする				
到達目標	<p>看護職の業務は、臨床看護から、地域保健の実際と評価、国際的健康課題へのかかわり、健康危機管理など、生活に密着した広域の問題に対応しなければならない方向にある。これらの課題や問題点を理解し解決するための能力を養うことをねらいとする。そして公衆衛生の基本内容や生活者の健康増進に対応した法制度と保健活動の進め方について理解することを目標とする。</p>				
講義回数	講義内容				
1～7	序論・1・3・4・5・6・7・11 章 序論. 公衆衛生を学ぶにあたって 1. 公衆衛生のエッセンス 3. 公衆衛生のしくみ 4. 集団の健康を捉えるための手法—疫学・保健統計 5. 環境と健康 6. 感染症と予防対策 7. 国際保健 11. 健康危機管理・災害保健				
8～15	2・8・9・10 章 2. 公衆衛生の活動対象 8. 地域における公衆衛生の実践 9. 学校と健康 10. 職場と健康				
教科書等	「公衆衛生」医学書院				
成績評価方法	出席状況と課題、筆記試験にて総合評価する				
履修上の留意点					
特記事項					